

美浜町小中一貫校基本構想ワークショップ（第1回） 会議記録

日 時：2022年10月28日（金） 19時～21時

場 所：美浜町保健センター 集団指導室

参加者：31名

1 開会行事（進行：学校教育課長）

- ・ テーマ：夢「こんな学校に通ってみたい！
～新しく計画する小中一貫校への夢や想いを語ろう！」
- ・ 各地区の区長代表、小学校の保護者、保育所の保護者、学校再編検討委員も加わり、本日から始まる。全4回のワークショップ、どうぞよろしくお願いします。

2 美浜町小中一貫校計画の概要について（教育長）

- ・ 人口減少、児童の減少が大きな問題。
- ・ 一定規模の学校で切磋琢磨できるとよい。
- ・ 特色ある美浜町の教育を推進する
小学校英語授業の充実、国際交流の充実、小学校高学年の教科担任制
日本福祉大学との連携拡大（質の高い教育、部活動連携）
- ・ 令和10年度の児童生徒数見込み（開校時）
小学校で1クラス7名の学校も出る。野間中が学年1クラスになる可能性
- ・ 今後のスケジュール
保護者説明会（各小学校において実施済）、ワークショップ（4回）
出していただいた意見を、基本構想に活かしていく。
建設場所は、現在、複数の候補地の法規制やメリット・デメリットを洗い出している。
通学方法など具体的な検討事項を検討していく。
子どもたちの意見を聞く機会も設ける予定。
- ・ 美浜町の将来の子供たちのために、オーダーメイドの学校を創りたい。

3 ワークショップの説明 鈴木賢一先生（名古屋市立大学教授）

- ・ スケジュールは、令和6年7年で設計、8年9年に建設となる。
そうすると、令和5年に基本構想、基本計画策定となる。
- ・ オーダーメイドの学校づくり

どんな環境を子どもたちに用意していくとよいか。

美浜町はこんな学校をつくりたい、という思いを設計者に伝えたい。

新しい学校の姿をどんなふうに描くかを議論したい。

・学校づくりは、町づくりの要素が大きい。

学校と地域が一体となった学校づくり。

みなさんがつぶやいたことを集積すると、見えてくるものがある。

ここでの話し合いは広く HP などでも広報したい。写真・録音の許可をよろしく。

本日の流れ

- ① 自己紹介
- ② グループワーク 1 小学校の思い出
- ③ グループワーク 2 新しい学校を語る
- ④ 話し合ったことの共有 1グループ3分

4 ワークショップ

- ① ステップ 1 「自分の通った学校の思い出」・「今の学校ってなんか変？」
- ② ステップ 2 「こんな学校に通ってみたい」・「新しい学校のキャッチフレーズ」

5 発表 1グループ3分以内で

A (布土地区)

- ・ピカピカ学校
- ・ヘルメット登校、おかしい
- ・制服選べない状況、おかしい
- ・給食はランチルーム、地域の人が食べに行きたい
- ・地域のカルチャースクール的な存在に学校になってほしい

B (河和地区)

- ・通学の坂道はつらかった
- ・ヘルメット通学は違和感満載
- ・将来やりたいことが見つけられる学校
- ・英語に特化、ぜんぶの授業を英語で！
- ・教科書の内容をタブレットに入れて持ち運びを軽く
- ・キャッチフレーズ 子どもの未来につながる学校

C (河和南部地区)

- ・プールがなかった
- ・山羊を育てた
- ・鼓笛隊がなくなった 写生会がなくなった
- ・プールの授業が少ない ・部活動の選択肢が少ない
- ・いじめのない学校がよい
- ・行事が充実している学校がよい
- ・安全な学校 地域との連携ができる学校
- ・給食がおいしい学校がよい 部活動がさかんな学校
- ・先生が魅力的な学校
- ・キャッチフレーズ「地域とつながる学校」

D (野間地区)

- ・トイレが寒い、汚なかった
- ・全校でランチ会をした思い出がある
- ・徒歩通学なのにヘルメット、なんで？
- ・先生に壁がある、ほかのクラスに勝手に入れないルール
- ・子供がたのしい学校
- ・体育や部活動・・・中学生が小学生の部活を見るのもよい
- ・学校でお泊り会。給食がおいしい学校
- ・キャッチフレーズ「安心安全に過ごせる学校」「コミュニケーション力アップの学校」

E (奥田地区)

- ・外遊び、部活動たのしかった
- ・区民運動会の思い出・・・夜練習がよかった
- ・遊具が少なくなっている 外であそぶなくなってきた
- ・明るい学校、生き物を飼いたい 芝生のある学校を 木のある学校を
- ・給食がとにかくおいしい学校
- ・キャッチフレーズ「おいしい給食で毎日ワクワク元気！」

F (上野間地区)

- ・上野間小校舎が新しい 古い校舎もレトロでよい
- ・先生が子供を叱られないのはおかしい・・・悪いことしたらきちんと叱ってほしい
- ・裏山にサバイバルマウンテンがある
- ・キャッチフレーズ「令和の文武両道」

6 まとめ 鈴木先生

- ・授業の話はなにもないですね。
- ・給食はみんなの話題でしたね。
- ・思い出はそれぞれですが・・・ヘルメット登校は、独特ですね。
- ・ほかのクラスに入れられないルール？・・・これは建物で解決するのは難しいけど
- ・でもこういう話をみなさんとするのは「建物と中身」の話がリンクするので。
- ・カルチャーセンター、地域の学校利用は、少しずつ増えている。
- ・泊まれる学校、これはすてき。そんな学校はどこにもない。
- ・キャッチフレーズ、どれもよかった！

こういうつぶやきの蓄積が、コンセプトになっていく。ここに出てこないものは新しい学校に反映されない。まずはいろんな意見を集めていきたいです。
次回は「子ども」をテーマにして考えたいと思います。

次回は、11月25日（金）美浜町役場3階大会議室で行う。

